

平成22年度 好文学園女子高等学校 自己評価(教職員)

平成22年度に向けて重点的に取り組むことが必要な目標

- ①内外に向けて開かれた学校づくりのために・・・
 ・ホームページ活用 ・財務諸表公開 ・保護者への授業公開 ・地域交流 を積極推進
- ②体系的な人財育成を通じた教員資質向上のために・・・
 ・校内研修 ・外部研修 ・他校ベンチマークを積極推進

「学校教育法」及び「学校教育法施行規則」に基づき実施した自己点検・評価の概要を報告します。

1. 評価の方法

- ① 教職員によるアンケート方式(自己評価)
 ② 平成23年3月実施

評価基準	4=よく当てはまる	3=当てはまる
	2=あまり当てはまらない	1=全く当てはまらない

2. 評価結果

分類	評価の観点	項目・設問	評価(%)			
			4	3	2	1
学校運営	私学の独自性	1・建学の精神について・・・建学の精神が教職員、生徒、保護者によく浸透している。	3%	71%	26%	0%
		2・愛校心について・・・在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	0%	80%	20%	0%
	教育課程	3・学習指導要領の対応・・・教育課程は学習指導要領に沿っている。	9%	83%	9%	0%
		4・教育計画について・・・年間を通じた教育計画を各教科・科目別に立てている。	20%	77%	3%	0%
	開かれた学校	5・ホームページの活用状況・・・教育活動についてホームページや通信等を利用し、情報公開をしている。	31%	58%	11%	0%
		6・財務関係・・・財務諸表等を公開している。	20%	54%	26%	0%
		7・授業公開状況・・・保護者へ授業を公開している。	8%	56%	36%	0%
		8・地域交流について・・・地域や地域住民との交流ができています。	17%	58%	25%	0%

	教員研修資質向上	9・校内研修・・・効果的な校内研修を立案し、実施している。	6%	14%	69%	11%
		10・教員の資質向上・・・教員に全国の先進校を訪問させたり、研修会に参加させて資質向上に努めている。	3%	36%	61%	0%
	危機管理	11・役割分担について・・・事故、災害等に対処する役割分担が明確にされている。	6%	63%	29%	3%
		12・講習・訓練について・・・AEDの講習・防災訓練が十分に行われている。	17%	71%	11%	0%
教育内容	生徒指導	13・学校生活・・・生徒は学校生活を楽しんでいる。	6%	78%	17%	0%
		14・校則の遵守・・・生徒は校則を守り、服装、頭髪など身だしなみをきちんとしている。	3%	89%	8%	0%
		15・組織的対応・・・生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。	6%	77%	17%	0%
	進路指導	16・進路意識の向上・・・将来に生き方や進路選択について考える指導をしている。	9%	77%	14%	0%
		17・進路相談・・・教育相談や進路相談等、学校の相談活動は充実している。	12%	56%	26%	6%
	授業	18・授業の質を高める・・・教科担当は、分かり易い授業を心がけ、授業の工夫、改善を心がけている。	17%	74%	9%	0%
		19・きめ細やかな指導・・・宿題・提出物の管理が出来ている。	9%	89%	3%	0%
		20・きめ細やかな指導・・・習熟度別授業が、生徒個人の理解度向上に役立っている。	6%	53%	38%	3%
	人権教育	21・人権研修会・・・人権尊重の意識を高める教育を行っている。	6%	36%	48%	9%
	情報教育	22・情報モラルの指導・・・情報の発信に伴う責任など情報モラル面の教育に十分取り組んでいる。	3%	53%	38%	6%
	その他	23・カウンセリング体制・・・カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	0%	37%	51%	11%
		24・部活動・・・部活動は活発である。	25%	64%	11%	0%

3. 分析

① 評価の高い項目(よく当てはまる+当てはまる $\geq 80\%$)

- Q2: 愛校心について・・・在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。
- Q3: 学習指導要領の対応・・・教育課程は学習指導要領に沿っている。
- Q4: 教育計画について・・・年間を通じた教育計画を各教科・科目別に立てている。
- Q5: ホームページの活用状況・・・教育活動についてホームページや通信等を利用し、情報公開をしている。
- Q12: 講習・訓練について・・・AEDの講習・防災訓練が十分に行われている。
- Q13: 学校生活・・・生徒は学校生活を楽しんでいる。
- Q14: 校則の遵守・・・生徒は校則を守り、服装、頭髪など身だしなみをきちんとしている。
- Q15: 組織的対応・・・生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。
- Q16: 進路意識の向上・・・将来に生き方や進路選択について考える指導をしている
- Q18: 授業の質を高める・・・教科担当は、分かり易い授業を心がけ、授業の工夫、改善を心がけている。
- Q19: きめ細やかな指導・・・宿題・提出物の管理が出来ている。
- Q24: 部活動・・・部活動は活発である。

② 改善を要する項目(あまり当てはまらない+全く当てはまらない $\geq 50\%$)

- Q9: 校内研修
..... 効果的な校内研修を立案し、実施している
- Q10: 教員の資質向上
..... 教員に全国の先進校を訪問させたり、研修会に参加させて資質向上に努めている
- Q21: 人権研修会
..... 人権尊重の意識を高める教育を行っている
- Q23: カウンセリング体制
..... カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある

4. 平成23年度に向けて重点的に取り組むことが必要な目標

① 学校運営面⇒体系的な人財育成の実践

教員研修・資質向上面で下記研修を体系的・重点的に実施強化

1. 校内研修→「初任者・若手新研修」、「中堅教員研修(実践心理学を活用したコミュニケーション)」
2. 外部研修→「初任・10年・管理職研修」、「授業力強化のための外部研修」
3. 他校ベンチマーク

② 教育内容面⇒「人権教育」「カウンセリング体制」の充実強化

1. 人権教育→ ・大阪私立学校人権教育研究会への積極参画
・近大北口教授の年次講演会実施
・好文未来学を通じた生徒への人権教育徹底
2. カウンセリング体制→
 - ・産業医による定期カウンセリング、社労士・産業カウンセラー参画によるメンタルヘルス強化
 - ・生徒指導部、クラス担任、養護教諭一体となったカウンセリングの組織的実践